

東海・東海第二発電所の近況について（2022年2月）

1. 発電所状況について（2022年2月10日現在）

東海第二発電所 沸騰水型 (電気出力110万kW)	・2011年5月21日から第25回定期検査（法令改正に伴い、定期事業者検査に名称変更）を実施中。 (燃料装荷時期及び定期事業者検査終了日は未定)
東海発電所 炭酸ガス冷却型 (廃止措置中)	・熱交換器本体等の原子炉領域以外の解体撤去工事を実施中。

2. 東海第二発電所 新規規制基準への対応について

(1) 安全性向上対策工事について

安全性向上対策工事を安全第一で進めています。

各安全対策施設の設置に向けた工事状況について、主なものを添付資料1（東海第二発電所 安全性向上対策工事の実施状況）に掲載しています。

項目	状況（添付資料参照箇所）
I. 津波から電源やポンプを守る設備 ・防潮堤等を設置する工事 ・安全上重要な設備を高台や地下に設置する工事	・実施状況(1), (2)
II. 電源を多様化する設備 ・高圧電源装置を設置する工事	・実施状況(3)
III. 原子炉を冷やすための設備 ・低圧、高圧注水ポンプ等を設置する工事 ・新たな水源を設置する工事	
IV. 発生した熱を海へ放熱する設備 ・緊急用海水系等を設置する工事	
V. 格納容器を冷却する設備 ・代替循環冷却系を設置する工事	
VI. 環境を守る設備 ・水素を取り除くための設備を設置する工事	
VII. 自然災害に備える設備 ・耐震補強工事 ・防火帯を設置する等の工事 ・竜巻対策のための工事	・実施状況(4)
(その他の工事等) ・排泥・残土置場造成工事	

添付資料1： 東海第二発電所 安全性向上対策工事の実施状況

3. プレス及びホームページ掲載実績について（1月14日～2月10日）

（1）法律に基づく報告に該当する重要な事象（0件）

（2）その他の情報

①プレス発表（1件）

- ・ 1月14日 東海第二発電所の原子炉設置変更許可申請の補正について（圧縮減容装置の導入）

②お知らせプレス（1件）

- ・ 2月10日 東海・東海第二発電所の近況について（2022年2月）

③ホームページ掲載（発電所からのお知らせ）（9件）

- ・ 1月18日 当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について
- ・ 1月20日 当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について
- ・ 1月25日 当社グループ会社社員及び当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について
- ・ 1月27日 当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について
- ・ 1月28日 当社グループ会社社員及び当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について
- ・ 2月 2日 当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について
- ・ 2月 3日 当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について
- ・ 2月 5日 当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について
- ・ 2月 7日 当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について

④取材案内（0件）

4. その他

（1）低レベル放射性固体廃棄物の輸送

1月15日に、東海第二発電所から発生した低レベル放射性固体廃棄物（ドラム缶624本を輸送容器79箱に収納）を、日本原燃（株）低レベル放射性廃棄物埋設センターに向けて輸送しました。この輸送は「2021年度 東海発電所・東海第二発電所の年間主要事業計画書※」に基づくものです。

※：2021年4月30日「2021年度 東海発電所・東海第二発電所の年間主要事業計画書の概要」にてお知らせ済

（2）2021年度「訪問対話活動（東海村全戸）」の実施結果

東海村全域を対象とした訪問対話活動を2021年11月13日から23日にかけて実施しました。実績は14,667戸であり、訪問先の皆さまから683件の貴重なご意見等をいただきました。

添付資料2：2021年度「訪問対話活動（東海村全戸）」の実施結果について

5. イベント情報等について

（1）講演会・セミナー等

①げんでん環境セミナー ～ざんねんで、わけありなきものたちのお話～

1月30日（日）16:30～18:00

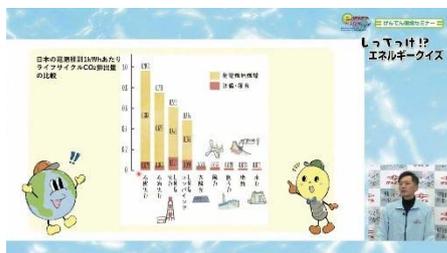
日本原子力発電株式会社 東海原子力館（東海村）

第1部 しってっけ!? エネルギークイズ

第2部 ざんねんで、わけありなきものたちのお話（講師：丸山貴史氏）

- ・今般の茨城県内における新型コロナウイルス感染者の急増に鑑み、無観客開催でYouTubeによるオンライン配信（申込者限定配信）を実施し、当日は最大354件（約1,150名）のご視聴をいただきました。

- ・第1部では、身近にある電気・エネルギーに関する問題を出題し、アンケート結果から多くの方にエネルギーに関心をもってもらうことができました。
- ・第2部では、数々のテレビ番組にご出演されている図鑑制作スペシャリストの丸山貴史氏より、さんねんで、わけありなきものたちのお話についてご説明をいただきました。



第1部配信状況



第2部配信状況



配信現場の状況

②げんでんエネルギー講演会 ～U字工事と考えるエネルギーの話～

・3月5日(土) 13:30～15:00

常陸太田市 交流センターふじ サンリバーホール(無料)

第1部 U字工事漫才

第2部 U字工事×金田武司氏 しってっけ!? エネルギークイズ

ナビゲーター: (株)ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役社長 金田武司氏

・会場は、300名(定員を超えた場合は抽選)になります。なお、応募期間は1月22日(土)10時から2月14日(月)16時です。

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での開催を中止する場合があります。

③げんでん環境セミナー ～ギョギョギョ! さかなクンと考える環境問題のコト～

・3月21日(月・祝) 1回目 13:00～14:30

2回目 16:00～17:30

水戸市 ザ・ヒロサワ・シティ会館 大ホール(無料)

第1部 エネルギークイズ

第2部 さかなクンショー

・会場は、各回750名(定員を超えた場合は抽選)になります。なお、応募期間は1月31日(月)10時から3月4日(金)16時です。

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での開催を中止する場合があります。

・参考資料: セミナーのご案内

上記②、③の詳細は、地域共生部(029-229-1033)までお問い合わせください。

(2) 出張イベント

地域の皆さまの身近な場所に出向き、日本のエネルギー事情、東海第二発電所の安全性向上対策工事の状況や原子力災害・避難計画等について、マンガ冊子やデジタルサイネージ等を使って分かりやすくご説明します。また、日本のエネルギー事情をクイズにした「しってっけ!? エネルギークイズ」や原子力発電所で事故が起きたら…をクイズにした「しってっけ!? もしもクイズ」等の参加型コーナーも設置しておりますので、お気軽にお越しください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては開催を延期または中止する場合があります。

①2月6日(日) 10時～16時

場所: 第45回ガヤガヤ☆カミスガ(那珂市菅谷・JR水郡線上菅谷駅前 宮の池公園通り)

※茨城県にまん延防止等重点措置が適用されたため、イベント中止

②3月6日(日) 10時～16時(予定)

場所: 大空マルシェ(東海村 阿漕ヶ浦公園内)

(3) 東海原子力館別館

○2館スタンプラリー（1月15日（土）～3月25日（金））

東海原子力館別館「つるし雛展」、原子力科学館「てまり展」を見て素敵なプレゼントを差し上げます。

○地域の方々の作品を展示しています。

ふれあい広場におけるギャラリー展示

①つるし雛展（1月4日（火）～3月31日（木））

早春を彩る「つるし雛」の季節になりました。今年の干支の寅たちや這い子人形、うさぎ人形、桜、七宝鞠、春駒等による色とりどりのたくさんのつるし雛を展示し、皆様をお待ちしています。

濱島 美智子様、川上 恵子様、佐藤 和枝様、仲田 京子様、小林 集江様による作品展です。

②花とナチュラルな暮らし展（1月4日（火）～3月31日（木））

花季などメイプルフラワースタジオ 岡崎 ひろみ様による作品展です。

③写真展

厳選 四季折々の写真(年中)

沢畑 秀一様による作品展です。

以 上

項目	現場で実施している作業※	状況参照シート
I. 津波から電源やポンプを守る設備 ・防潮堤等を設置する工事 ・安全上重要な設備を高台等に設置する工事	○鉄筋カゴ設置(防潮堤(東側)) ○鋼管杭設置(防潮堤(南・北側)) ○鉄筋カゴ設置(防潮堤(北側)) ○杭打ち(緊急時対策所建屋, 可搬型設備保管場所)	・実施状況(1) [更新] ・実施状況(2) [更新] ・[継続] ・[継続]
II. 電源を多様化する設備 ・高圧電源装置を設置する工事	○躯体工(常設代替高圧電源装置置場)	・実施状況(3) [更新]
III. 原子炉を冷やすための設備 ・低圧, 高圧注水ポンプ等を設置する工事 ・新たな水源を設置する工事	○躯体工(代替淡水貯槽等)	・[継続]
IV. 発生した熱を海へ放熱する設備 ・緊急用海水系等を設置する工事	○躯体工(緊急用海水ポンプピット) ○掘削(シビアアクシデント用海水ピット等)	・[継続] ・[継続]
V. 格納容器を冷却する設備 ・代替循環冷却系を設置する工事		
VI. 環境を守る設備 ・水素を取り除くための設備を設置する工事	○タワークレーン等設置	・[継続]
VII. 自然災害に備える設備 ・耐震補強工事 ・防火帯を設置する等の工事 ・竜巻対策のための工事	○配管架構設置(主排気筒耐震補強) ○耐震補強, 地盤改良等(既設海水ポンプ室) ○躯体補強(取水路・海水ポンプ室) ○耐震補強(燃料取替機) ○躯体工(重油貯蔵タンク) ○タワークレーン等設置 ○竜巻対策(既設海水ポンプ室)	・[継続] ・[継続] ・実施状況(4) [新規] ・[継続] ・[継続] ・[継続] ・[継続]
(その他の工事等) ・排泥・残土置場造成工事	○排泥・残土置場造成	・[継続]

※: 作業が終了したもの(今後検査を受けるものを含む)は除きます

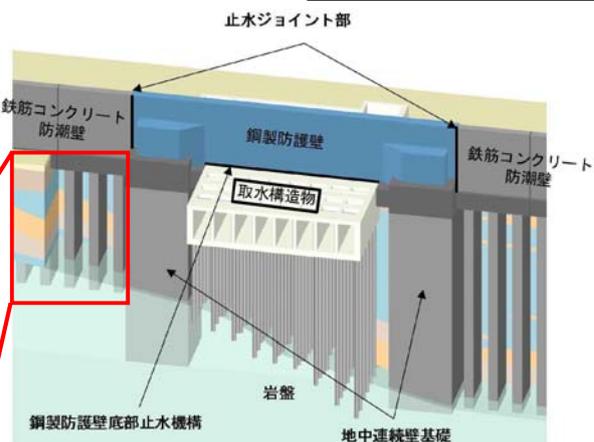
新規: 新たにお知らせする工事
 更新: 工事状況を更新している工事
 継続: 先月から作業継続している工事

安全性向上対策工事の実施状況(1)

○鉄筋カゴ設置
(防潮堤(東側))

- ・発電所の敷地に津波から防護するための**防潮堤**を設置
- ・東側での鋼管杭打設を実施中
- ・鉄筋コンクリート防潮壁部分等の地中連続壁基礎工事を実施中

防潮堤による津波からの防護



鉄筋カゴ設置の様子

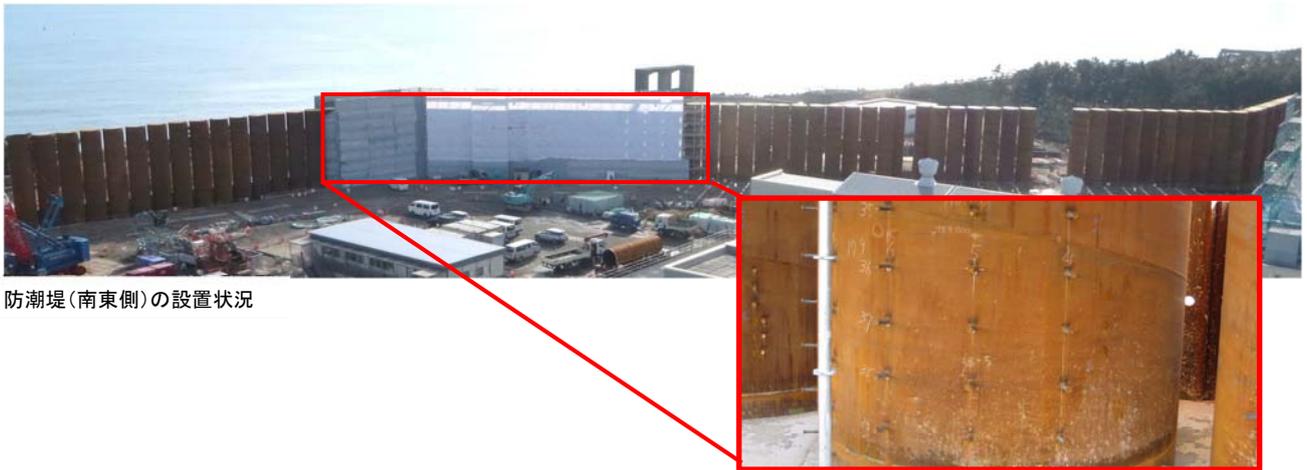
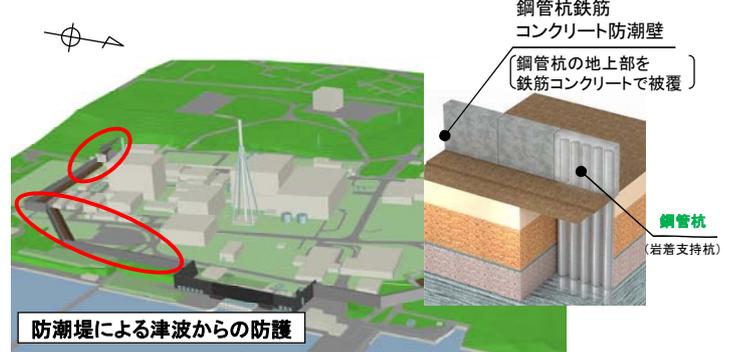


防潮堤(東側)の設置状況

○鋼管杭設置(防潮堤(南・北側))

- ・防潮堤の多くの部分は**鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁**で構成
- ・発電所の南側において鋼管杭上部を設置中。設置済みの鋼管杭に対し、コンクリート施工の事前工事を実施中
- ・北側においても継続して鋼管杭の打設を実施中

防潮堤(鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁)



防潮堤(南東側)の設置状況

鉄筋コンクリートがより強固に一体化するようスタッドボルトを溶接 3

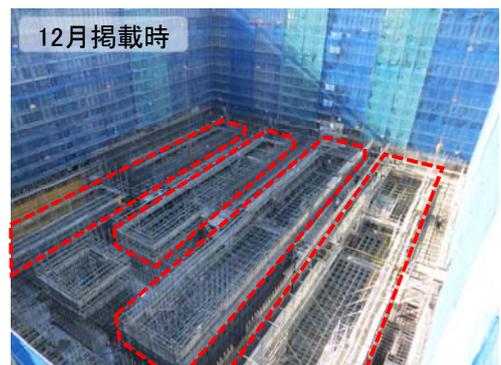
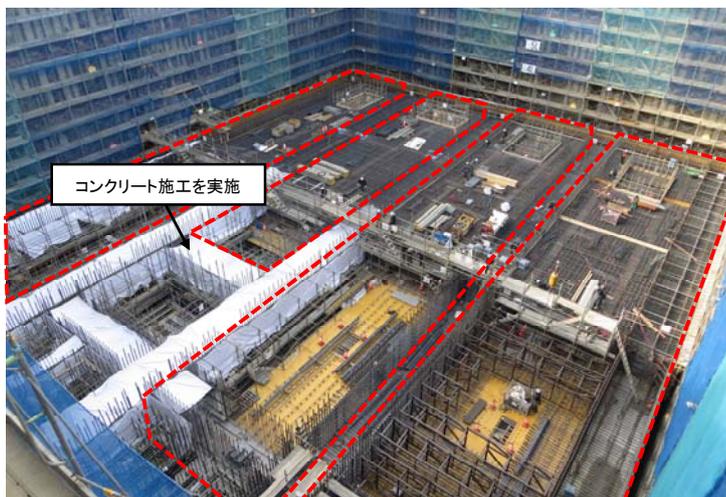
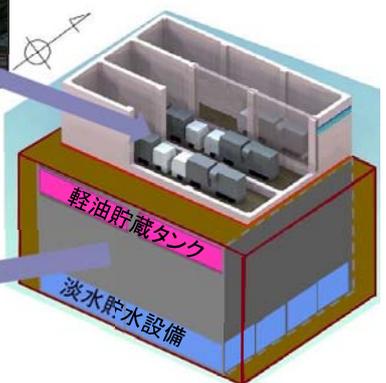
○躯体工
(常設代替高圧電源装置置場)

- ・東海発電所の屋外開閉所跡地(標高11m)に、緊急時に電源を供給する**常設代替高圧電源装置置場**を設置
- ・置場設置に向けた躯体工を実施中



空冷式発電機からの電源供給

常設代替高圧電源装置及び同置場



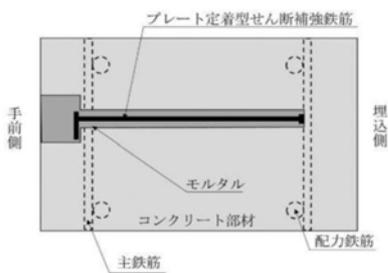
常設代替高圧電源装置置場 赤枠部分:貯水設備工事場所

○躯体補強(取水路・海水ポンプ室)

- ・取水路の耐震性を向上させるため、取水路の鉄筋コンクリート部材に補強用の鉄筋を追加
- ・側面、上面及び底面の各鉄筋コンクリート部材にポストヘッドバー(PHb)※を施工

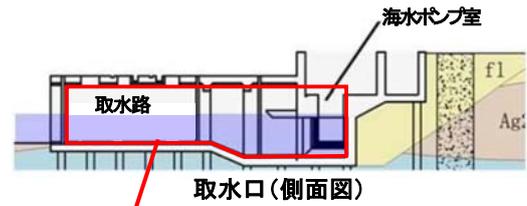
* 取水路を介して取水した海水は、タービン排気蒸気を水に戻すための冷却剤として使われる他、原子炉、使用済燃料プール等の冷却に用いられる。

※ポストヘッドバー(Post-Head-bar)
 構造物にドリル等で穴をあけ(削孔)、モルタルを充填した後に補強用の鉄筋を差し込むことで、その構造物の耐力を向上させる工法。



ポストヘッドバー工法イメージ図

取水口の耐震性向上



2021年度「訪問対話活動（東海村全戸）」の実施結果について

当社は、地域の皆さまとのコミュニケーション活動の一環として、げんでんグループ社員が、定期的に地域の皆さまのお宅を訪問し直接対話をすることで、皆さまの当社事業および原子力発電への理解促進と信頼感の醸成を図ることを目的に、2020年度から新たな取り組みとして「訪問対話活動」を開始しました。

今回は、東海村全戸の皆さまのお宅に、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底したうえで訪問し、対面できた一部の訪問先から多様なご意見をいただきましたので、お知らせ致します。

- 実施期間 2021年11月13日（土）～11月23日（火）
- 対象地区 東海村全戸（居住なし宅(空き家)を除く14,667戸を訪問）
- 説明内容
 - ①原子力発電の重要性
 - ②東海第二発電所の取り組み状況（安全性向上対策工事の最新状況含む）
 - ③原子力防災・事業者の取り組み状況



○皆さまからの主なご意見（抜粋）

- 東2を早く再稼働してほしい。再稼働しないと景気が悪くてしょうがない。
- 最終的な核の処理が決まっていないのに運転するのは良くない。
- 慎重派は再稼働反対と声をあげるが、賛成派は声を出さないように思う。
- 訪問対話で直接説明してくれることはありがたい。
- 環境問題を考えると原子力を無くす訳にはいかないが、廃炉の方法や廃棄物の処理方法が、決まっていないので心配している。また、次世代に廃棄物を残さないでほしい。
- 反対する人の多くは、福島事故が原因であり、それを踏まえた安全性向上対策を理解していない。PRが最も大事。
- 原子力は将来的にはなくすべきと考えているが、急になくすのには反対。新しい発電方法が確立されるまでは原子力は残しておくべき。
- 原子力発電は必要なもの。安全に気を付けてどんどん発電してほしい。
- 安心して生活するには原子力はいらぬ。
- 今回のように発電所の方と直接お話しできる機会があると良い。信頼・安心感に繋がる。
- 放射線は見えないから怖い。
- 40年も過ぎて老朽化している原発は廃炉にしてほしい。
- 原子力は必要と思っているが、避難計画について、避難場所、経路、移動方法等を具体的に教えてほしい。

○皆さまからの主なご質問（抜粋）

- 40年延長運転、本当に大丈夫か？
- 安全対策工事はいつ完成しますか？
- 安全対策工事終了後、即再起動するのか？
- 30Km 圏内を見て回ったが、避難道路が充実していないように思われる。原電だけの問題ではないと思うが、避難計画は大丈夫か？
- 廃棄物は海外で処分できないのか？
- JCOの時は情報公開がとても遅かった。事故があった時、情報はすぐに住民にくれるのか？

今回の訪問対話活動で、ご協力並びに貴重なご意見をいただきました村民の皆さまに対しまして、深く感謝申し上げます。

当社は、今後とも安全確保を最優先に東海・東海第二発電所の運営に努めてまいります。

以 上

ギョギョギョ!

さかなクンと考える 環境問題のヨト



2022年

3/21(月・祝)



1回目 13:00 ~ 14:30 (開場 12:00)

2回目 16:00 ~ 17:30 (開場 15:00)

ザ・ヒロサワ・シティ会館
大ホール



さかなクンと一緒に
海の世界の環境問題を
考えてみよう!

東京海洋大学名誉博士

さかなクン

©2022 ANAN. And Tm.

【新型コロナウイルス感染拡大防止についてお願い】

- ご来場の際は、マスク着用、手指の消毒、非接触式体温計での検温にご協力をお願いします。また、次に該当する方については、ご入場をお断りさせていただきます。
 - ①37.5℃以上の発熱がある方
 - ②咳(せき)やのどの痛みなどの症状がある方
 - ③同居家族や身近な知人に感染が疑われる方
 - ④新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触された方
- 健康状態の確認のため「ご参加カード」にご記入ください。これは会場内で感染者が発生した場合、参加者の追跡確認ができるようにするためのものです。
- ご来場の際は、「いばらきアマビエちゃん」への登録をお願いします。

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず開催を中止する場合がございます。

講演内容：第1部 エネルギークイズ
第2部 さかなクンショー

定員：各回750名(定員を超えた場合は抽選)

応募期間：2022年1月31日(月)10:00 ~
2022年3月4日(金)16:00

QRコードからお申込みください。
4名様まで申込み可能です。



- ※応募者の個人情報は、当事業の運営のみに使用します。
- ※QRコードの読み取りが難しい等の場合は、お問合せください。
- ※当日の入場に際して開催の1週間前までに
入場券をお送りいたします。
なお、定員を超える応募があった場合は抽選となり、
入場券の発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。

主催  日本原子力発電株式会社

お問合先 日本原子力発電株式会社 東海事業本部 地域共生部 ☎029-229-1033 (土日祝を除く 9:00 ~ 17:00)